

のんのっうしん



2017秋号～病児・病後児保育室「のん」発行

今年は夏の訪れが早かった分、お盆前には朝晩涼しくなり秋の気配も早々と感じましたね。プール熱と手足口病が猛威を奮った夏でしたが、今後は気管支系の感染症が心配な季節です。楽しい秋を満喫するために体調管理には十分気を付けましょう。



お薬、上手に飲めるかな？！ ～お薬嫌いにしないコツ～

病気になった時に、お子さんにお薬を飲ませるのに苦労されてる方は多いのではないのでしょうか？今はずいぶん飲みやすく改善されていますが嫌がる子も多いようです。そこで今回は与薬のポイントと注意点ををご紹介します。

1. 主食などの嫌いになったら困る食材には混ぜない！

薬は多くの食材に混ぜて使うことができますが、お米やうどんなどの**主食**や**嫌いになっては困る栄養価の高い食材**には混ぜないようにしましょう。

2. 事前に混ぜてはいけない食材の確認を！

混ぜると**苦みの出るもの**や、**味が変わり**しまったり組み合わせると**薬の効果**を打ち消してしまったりするものがあります。混ぜたい食品があれば事前に医師や薬剤師に確認する、処方箋をよく読む等を習慣にしましょう。

3. 薬を溶かす食材の量は控えめに！

作った量が多くて子どもが食べ残してしまうと、**必要量が摂取できなくなります**。ヨーグルトやゼリー等に混ぜる場合はカップから少量取り分けて、薬を混ぜた物を全部食べてから残りを与える、など工夫しましょう。

4. 水や食材に薬を溶かすのは直前に！

時間が経つと苦みが出たり、薬の効果が落ちてしまうものも少なくありません。**飲ませる直前に**溶かしましょう。

5. 薬の準備は見せず、楽しい演出も！

警戒心の強いお子さんは薬の準備で「嫌なことをされる！」と不安になるようです。また、薬を飲まそうと必死の雰囲気がプレッシャーになるようですので、**ご褒美**のようにお薬をあげたり、飲めた時にはたくさん**褒めて**あげるなどして、お薬嫌いになるのを防ぎましょう。

出典～マーミーHP 「子どもの薬の飲ませ方」

Nonno's gallery



9月に来室した4歳のNちゃんが折り紙で「きつねとくり」を作りました！
とっても上手に可愛らしくできて、Nちゃんも大喜びでした♪

搬送訓練とBLS講習を行っています！

「のんの」では年に三回、医大救急科の職員と共に搬送訓練を行っています。また年に一回BLS講習も行い、不測の事態に備えて最善の対処が出来るようにしています。今後も保護者の皆さんに安心して利用して頂ける病児保育室であるよう努力して参りますのでよろしくお願い致します。



2017.7.20 搬送訓練の様子

「のんの」に関する疑問・質問など、お気軽にお問い合わせください

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター/病児・病後児保育室 のんの
〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

病児・病後児保育室のんの TEL:69-3245(内線3245)
二輪草センター TEL:69-3240(内線3240)

E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

受付時間 7:45～18:00